

航海安全・豊漁を祈願し、市内各地でハーリー大会が開催!



比嘉ハーリー大会



平安座ハーリー大会



石川ハーリー大会

市議会だより うるま



東恩納青年会エイサー



題字を書いた生徒
うるま市立石川中学校
うるま → 石川 幸花
市議会 → 平田 司
だより → 伊波 駿之介

Vol.81

令和7年

2025年9月1日

市議会のこと、もっと知りたい

contents 市議会早分かり

contents

意見書・抗議決議の要請事項	P2~3
本会議での主な質疑	P4~5
公表します議案の賛否(6月定例会)	P6
議決結果(5月臨時会・6月定例会)	P6~7
「市政に反映」一般質問 29の視点(6月定例会)	P8~22
常任委員会の審査概要(6月定例会)	P23
本会議での討論(6月定例会)・編集後記	P24



石川みほまつり
旭区青年会エイサー

うるま市議会では広報に関するアンケートを実施します。
QRコードからご回答いただけます。
貴重なご意見をお聞かせください。



決議の要請事項

◆在沖米海兵隊員による性的暴行事件に関する意見書、抗議決議◆

【提案理由】

米軍人による度重なる性的暴行事件に対して厳重に抗議し、被害者への謝罪及び完全な補償を早期に行うとともに、綱紀粛正・人権教育の徹底を求めるため提案する。

【意見書・抗議決議要旨】

令和7年3月、米軍基地内で成人女性に性的暴行を加え、さらに別の女性にけがを負わせたとして、4月7日に沖縄県警は在沖米海兵隊員を不同意性交と傷害の疑いで書類送検し、那覇地方検察庁は同月30日付で起訴した。また、同年1月には別の米兵による性的暴行事件が発生していたことも、併せて明らかとなった。本市議会は、昨年7月にも「米軍人による性的暴行事件に対する意見書・抗議決議」を全会一致で可決しており、実効性のある再発防止策を確立するよう日米両国の関係機関に強く求めたばかりである。

それにもかかわらず、類似の事件が繰り返されるなど、女性の人権と尊厳、市民・県民の安心・安全な生活を脅かすものである。事件を防止できなかった日米両国政府の責任は極めて重大であり、一刻も早く抜本的な改善を行う必要がある。

よって、本市議会は、女性と市民・県民の人権、生命、財産を守る立場から、今回の事件への激しい怒りをもって厳重に抗議するとともに、関係機関に対して、下記事項の徹底、実現を強く要請・要求する。

【要請事項】

1. 被害者への謝罪及び完全な補償並びに丁寧な精神的ケアを行うこと。
2. 米軍人・軍属への綱紀粛正及び人権教育を徹底し実効性のある再発防止策を確立すること。
3. 米軍人・軍属に係る事件・事故が発生した場合は、関係自治体へ速やかに情報を提供すること。
4. 日米両政府が取り組む新たなフォーラムを定期的で開催し、事件の公表の在り方、被害の未然防止及び再発防止に資する実効性のある協議を行い、公表すること。
5. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。



提出者 基地対策特別委員会
委員長 國場正剛

議決日 令和7年6月19日

◆西田昌司参議院議員の憲法シンポジウムにおける発言に対し、真摯な謝罪と撤回を求める抗議決議◆

【提案理由】

西田昌司参議院議員の憲法シンポジウムにおける発言に対し、真摯な謝罪と撤回を求めるとともに、沖縄戦に対する多くの証言があることを深く認識することを求めるため提案する。

【抗議決議要旨】

令和7年5月3日の憲法記念日に那覇市で開催された憲法シンポジウムにおいて、自由民主党の西田昌司参議院議員が、ひめゆりの塔の展示をめぐり、「歴史の書換え」や、「むちゃくちゃな教育」などと発言した。西田議員の発言は、沖縄戦の平和教育に対する考えをゆがめ、県民の尊厳を踏みにじるものである。

ひめゆり学徒隊をはじめとする多くの若き命が、国体護持を掲げた日本軍の作戦の中で、十分な説明もないまま戦場に駆り出され、避けられたはずの死へと追い込まれた事実は、戦後の証言、遺品研究を通じて明らかになっている。

西田議員は「ひめゆりの塔」に言及したことを、「TPO（時、場所、場面）をわきまえるべきだった」と弁明したが、沖縄の歴史教育や平和教育を非難した根幹部分は謝罪も撤回もしていない。

西田議員の一連の発言は、軍人よりも一般住民の犠牲者がはるかに上回っている沖縄戦の凄惨な経過や被害、犠牲という事実に対してあまりにも不誠実な態度であり、歴史を都合の良いように「書き換えるかのような」姿勢は断じて許されるものではない。

西田議員に求められているのは、戦後80年たった今も癒えることのない戦争体験者や遺族の深い悲しみの声に真摯に向き合い、沖縄戦に対する多くの証言があることを深く認識することである。



提出者 議会運営委員会
委員長 大城 直

議決日 令和7年6月19日

よって、うるま市議会は二度と沖縄を戦場にさせないことを表明するとともに、下記の事項を強く要求する。

【要請事項】

1. 西田昌司参議院議員による発言の撤回、沖縄県民及び関係者への謝罪をすること
2. 自由民主党は西田昌司参議院議員への厳格な処分を行い、党として沖縄戦への認識を示すこと
3. 西田昌司参議院議員は、ひめゆりの塔や平和祈念資料館を訪問し、沖縄戦に対する多くの証言があることを深く認識すること

◆公営競技の場外発売所設置に反対する決議◆



提出者 伊波 洋 議員

議決日 令和7年6月30日

【提案理由】

うるま市内において、幾度となく公営競技の場外発売所設置に向けた経緯があり、そのたびに市民が分断される状況となった。市民の安全・安心、教育、青少年への影響等を鑑み、うるま市議会は、今後、公営競技の場外発売所設置に断固反対するため提案する。

【決議要旨】

うるま市は、市民が互いに支え合い、協働のまちづくりを実践し、まちの将来像「愛してます 住みよいまち うるま」の実現に取り組んでいる。沖縄本島中部の東海岸に位置し、南東に伸びる半島部の北方及び東方海上に有人・無人の10の島があり、うち5つの島は海中道路や架橋で結ばれ、その景観はCMや映画のロケ地に使われている。

肉用牛など畜産やさとうきび栽培が行われ、モズクは県内水揚げの約4割を占めている。また、世界遺産に登録された勝連城跡やエイサー、獅子舞、闘牛などの伝統文化が残っており、それらを踏まえ、中村正人市長を先頭に、全国に「感動産業特区 うるま市」を発信している。

このような状況の中、うるま市内において公営競技の場外発売所設置の動きがある。この種の施設が市内に設置されると、まちづくりや地域の安全・安心、教育、青少年への影響、交通渋滞など地域環境や市民生活へ深刻な影響を与えることが懸念され、いかに公営とはいえ「ギャンブル特区」となりかねない。また、家族連れや観光客、買物客、さらにうるま市の伝統文化を求めて来訪する人々の足が遠のくなど、来訪者への影響が生じることも危惧され、本市が目指すまちづくり、市民が互いに支え合い、協働のまちづくりを実践し、まちの将来像「愛してます 住みよいまち うるま」の実現との調和がとれない。

また、これまで市内において同様な公営競技の場外発売所設置計画があったが、同様な懸念から市民が立ち上がり反対の立場をとり、設置が断念されてきた経緯もある。

よって、うるま市議会は、今後、公営競技の場外発売所をうるま市に設置することについて断固反対する。

本会議ライブ・録画中継は、こちら

ホームページ 

<https://uruma-city.stream.jfit.co.jp>



意見書及び決議の

詳しい情報は、こちら 



請願及び陳情について詳しい情報はこちら

 ホームページ

<https://www.city.uruma.lg.jp/shisei/162/854>

ホームページ

<https://www.city.uruma.lg.jp/shisei/162/852>

報告第8号 令和6年度うるま市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について

Q 真栄城隆議員 農業施設災害復旧事業、資材不足や大雨で不測の日数を要したとあるが、事故となっている理由は。

A 事故繰越しの定義は、年度内に支出負担行為をなすも避けがたい事故のため支出が終わらなかつたもの。避けがたい事故とは、洪水、地震等の天然現象、崩落事故による中断等に加え、資材不足等も含む。また、当該事業は、令和5年度に繰越明許の議決を経て、6年度中の完成を目指したが、さらに避けがたい事故が発生し、「事故繰越し」の手続きを行い、7年度まで継続し、同年5月に災害復旧の工事を完了している。

報告第11号 令和6年度うるま市土地開発公社事業報告及び決算報告について

Q 金城加奈栄議員 ヌーリ川公園整備事業について、公有用地処分事業にならないといけない理由について。

A 土地開発公社は、市と委託契約を交わしヌーリ川公園区域内の土地

を先行取得し、公社が購入した時点では土地の名義は公社である。また、委託契約の中では、後に市が交付金を活用し、先行取得した土地を公社から買戻すことが含まれている。土地開発公社事業報告で公有用地処分事業の実績については、市が令和6年度の交付金の枠内で土地を買戻した実績となっている。

報告第18号・報告第19号 専決処分の報告について(車両事故)

Q 伊波洋議員 事故報告の車両が同じだが、当局の見解を伺う。

A 事故を起こした公用車は、定期的な整備・点検を行っており、事故の要因は車両不具合ではない。報告第18号の事故は、運転手の体調面による不注意で発生と認識。同車両はワンボックス型の大きな車両で、乗用車と比較すると運転に技量を要するため、報告第19号の事故に至ったものと考えている。今後も車両の整備・点検はもちろんだが、安全運転の周知徹底に努め、公用車事故の再発防止に取り組む。

議案第33号 令和7年度うるま市一般会計補正予算(第1号)

Q 宮城一寿議員 火葬施設老朽化対策事業、物件移転等補償金3,500万円の詳細説明を。

A 当初、物件移転補償金の概算額として1億5,000万円を見込んでおり、その前金払い分として1億500万円を本年度当初予算に計上。その後の調査で物件移転補償金の概算額が最大2億円の見込みとなり、それに伴う前金払いの不足分として3,500万円を増額補正した。物件移転補償金の増額の主な要因として、建物補償費の年度更新による単価の入れ替え、設計費用などの移転雑費、処分撤去費用の増額になる。

Q 高屋優議員 豊原前原線道路整備事業について、本工事の背景と事業詳細、そして当道路整備事業完了までのスケジュールを伺う。

A 県道33号線沿線の大型施設等へのアクセス道路である市道豊原6-60号線の交通量増加が課題。交通集散及び交通安全対策に関し、「うるま市道路整備プログラム」において新たな補助幹線道路「豊原前原線」が位置付けられ、一部区間で道路事業を実施。延長120m、幅員15.5mの両側歩道を設置し、主にボックスカルバートを

設置予定。令和6年度に実施設計を終え、7年度に用地測量業務、土地評価業務、物件調査業務を行い、8年度に用地買収、物件補償、9年度に工事予定。

Q 上西真理議員 モータースポーツ振興推進事業の詳細並びに内訳と、補助金から業務委託料へ変更した理由について。

A 同事業は、観光資源としてのモータースポーツの在り方を検討し、実証イベントを開催。内訳は全額委託料となる。業務委託料に変更した理由は、昨年度まで市主催で実証イベントを開催。本年度からは民間主催と、将来的な自立化を目指し当初予算で運営補助金を計上した。しかし、昨年度の成果等を踏まえ、民間主催移行へ追加検証が必要となり、今年度も市主催で実施し、補助金を業務委託料に変更している。

Q 伊礼正議員 うるま市市制施行20周年記念事業(式典)の業務委託料の説明を。

A 令和7年10月に予定している「うるま市誕生20周年記念式典」に合わせて、友好都市である盛岡市、宇都宮市、文京区とうるま市を含めて、(仮称)友好都市フォーラムを予定し、式典とフォーラムに係る映像撮影、進行管理、進行台本の作成や舞台転換図の作成などを業務委託するための増額補正。

本会議での主な

議案第36号 つるま市都市公園を設置すべき区域の決定について(仮称)美原地区多目的広場

Q 伊波洋議員 区域決定後の公園整備に係る予算、スケジュールについて説明を求めます。

A 整備スケジュールは、本年度に用地補償業務、次年度に整備工事を行う予定。用地補償業務に関連する業務委託料、公有財産購入費、物件移転等補償金、合わせて4,253万8千円を当初予算に計上している。

議案第41号 つるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例

Q 金城加奈栄議員 提案理由で、新たな認定委員会等を設置するためとあるが、委員会構成と選定方法を伺う。

A 「つるま市まんまのりませれくシヨン認定委員会」は、商業・工業・農水産業、経済団体、有識者、行政を含む関係者で構成され、まんまのりませれくシヨンの認定に必要な知識・経験を有する者を経済産業部で人選し、市長が委嘱。次に「つるま市ふるさと産品創出等支援事業選定委員会」は、商業・農水産業、金融機関、行政を含む

関係者で構成され、つるま市ふるさと産品創出等支援事業者の選定に必要な知識・経験を有する者を経済産業部で人選し、市長が委嘱する。

議案第45号 教育委員会委員の任命について

Q 国吉亮議員 教育委員会委員任命の人選について、議案として提案されるまでの経過を伺う。

A 赤嶺幸徳氏については、これまでの教育者としての経歴等を踏まえ、市教育委員として教育行政に携わってもらいたく提案。今回教育委員を提案するに際し、市長が教育委員会からの推薦を踏まえ、意見を伺い最終的に決定し、議会へ提案している。

議案第46号 監査委員の選任について

Q 国吉亮議員 監査委員選任の人選について、議案として提案されるまでの経過を伺う。

A 豊濱光則氏については、これまでの経歴や実績等を踏まえて、市の監査委員に引き続き選任したく提案。監査委員の選任については、今回事業の経営管理に優れた識見

を有する方として、市長が豊濱氏の継続が望ましいと判断し、意見も伺い決定し、議会に提案した。

議案第44号 損害賠償の額を定め和解することについて

Q 神田洋一議員 損害賠償の額の定めに至った経緯と原告が主張する損害賠償請求の金額、内訳について。また、議案が可決した場合でも、和解が成立しないこともあるのか。

A 本案件は、令和4年10月執行の市議会議員選挙にて、開票作業の過誤で一旦落選とされた原告が、本市選挙管理委員会を設置する被告に対し、当初からの議員歳費相当額等の損害賠償を請求する事案。裁判所の和解勧告では、損害賠償金800万円で、金額内訳や経緯については訴訟中につき、答えられない。なお、和解は、当事者双方の合意で成り立つため、一方が和解に応じない場合は成立しない。

議会を傍聴してみませんか？

○本会議開催中は議会を傍聴することができます。傍聴する際は、つるま市役所西棟4階議会事務局にて申請を行ってください。

※なお、傍聴には秩序維持のためルールがあります。詳しくは議会事務局職員までお尋ねください。また、未就学児、児童の傍聴は議長の許可が必要となりますので、予めご了承ください。



傍聴案内ページへ



市役所西棟5階にある傍聴席

第81号

令和7年6月第183回うるま市議会定例会 議決結果				
議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第7号	令和6年度うるま市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	市長	令和7年6月13日	報告
報告第8号	令和6年度うるま市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について	〃	〃	〃
報告第9号	令和6年度うるま市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	〃	〃	〃
報告第10号	令和6年度うるま市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	〃	〃	〃
報告第11号	令和6年度うるま市土地開発公社事業報告及び決算報告について	〃	〃	〃
報告第12号	令和7年度うるま市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画の報告について	〃	〃	〃
報告第13号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第14号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第15号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第16号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第17号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第18号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第19号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第20号	専決処分の報告について（怪我費用請求調停事件の損害賠償額を定め和解すること）	〃	〃	〃
議案第33号	令和7年度うるま市一般会計補正予算（第1号） （補正額：1,343,425千円 補正後の予算：84,525,840千円）	〃	令和7年6月19日	原案可決
議案第34号	令和7年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第1号） （補正額：1,158千円 補正後の予算：12,020,024千円）	〃	令和7年6月30日	〃
議案第35号	令和7年度うるま市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃	令和7年6月19日	〃
議案第36号	うるま市都市公園を設置すべき区域の決定について（（仮称）美原地区多目的広場） （公園の位置：うるま市石川東恩納1524番地6外 面積：約0.09ha 種類：街区公園）	〃	令和7年6月30日	〃
議案第37号	物品の取得について（水槽付消防ポンプ自動車） （契約金額 100,540,000円 契約の相手方 株式会社オカノ）	〃	令和7年6月19日	〃
議案第38号	物品の取得について（高規格救急自動車） （契約金額 27,060,000円 契約の相手方 琉球日産自動車株式会社）	〃	〃	〃
議案第39号	うるま市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 （地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく地方公共団体情報システムの統一・標準化等に伴う条例改正）	〃	令和7年6月30日	〃
議案第40号	うるま市勝連城跡文化観光拠点施設条例の一部を改正する条例 （うるま市勝連城跡文化観光拠点施設の運用を見直す条例改正）	〃	〃	〃
議案第41号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 （うるま市まんまうるまセレクション認定委員会及びうるま市ふるさと産品創出等支援事業選定委員会を設置する条例改正）	〃	〃	〃
議案第42号	うるま市立公民館条例の一部を改正する条例 （うるま市立与那城地区公民館の廃止等に伴う条例改正）	〃	〃	〃
議案第43号	和解することについて	〃	〃	〃
議案第44号	損害賠償の額を定め和解することについて	〃	〃	〃
議案第45号	教育委員会委員の任命について （赤嶺 幸徳）	〃	令和7年6月19日	同意
議案第46号	監査委員の選任について （豊濱 光則）	〃	令和7年6月30日	〃
議案第47号	令和7年度うるま市一般会計補正予算（第2号） （補正額：384千円 補正後の予算：84,526,224千円）	〃	〃	原案可決
議案第48号	うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 （国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴う条例改正）	〃	〃	〃
選挙第1号	うるま市選挙管理委員及び補充員の選挙 （選挙管理委員 当選人：伊波恒夫、名護徹、安田健、島袋邦子） （選挙管理委員補充員 当選人：第1順位 宮城慶子、第2順位 大浦茂徳、第3順位 山城昌承、第4順位 内間幸枝）		〃	当選
発議第3号	在沖米海兵隊員による性的暴行事件に関する意見書	基地対策特別委員会 委員長 國場 正剛	令和7年6月19日	原案可決
発議第4号	在沖米海兵隊員による性的暴行事件に関する抗議決議	〃	〃	〃
発議第5号	西田昌司参議院議員の憲法シンポジウムにおける発言に対し、真摯な謝罪と撤回を求める抗議決議	議会運営委員会 委員長 大城 直	〃	〃
発議第6号	公営競技の場外発売所設置に反対する決議	伊波洋議員 外3名	令和7年6月30日	〃
陳情第49号	自主防犯活動用自動車の軽自動車税（種別割）の減免に関する陳情	-	〃	趣旨採択

6月17日から6月26日の7日間、6月定例会における一般質問が行われ、29人の議員が質問しました。

今回は「教育・福祉の充実や子育て支援」「道路・公園・排水路等の整備」「文化・観光振興」「消防行政」など、市の一般事務に対して質問がありました。

掲載文は、各議員の質問と執行部の答弁を簡略にしたものです。実際には多岐にわたる内容となっています。各議員の真剣な質問と執行部の誠意ある答弁は**録画中継**をご覧ください。



録画映像
トップページへ



議長 **比嘉直人**

『一般質問』は、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、質問を求め、又は疑問をただすことをいいます。

生活支援



いとかず まさむね **糸数昌宗** 議員 (新政クラブ)

生活の厳しさを訴える声。支援対象拡充の考えはあるか

答弁…全世帯向けのクーポン券の配布事業を講ずることを決定



少年野球の練習環境改善

Q 体育館では照明や電源設備が使用でき、屋外のクラブは同様の機能を利用できない現状は、公の施設の公平な利用の観点から見て明らかな不均衡ではないか。

A (中村市長) 学校内で屋内外にて不公平感があることを、学校側も教育委員会側も市長部局側もしっかり受け止めるべき。今後全体的な観点から考えていきたい。

中学校の水泳授業

Q 市内中学校でプール授業が男女合同で実施。それにより、女子を中心にプール授業を忌避する生徒が出ている現状を教育委員会は把握しているか。また、どのように受け止めているのか。

A (鹿川学校教育部長) 体育の男女共習については、心身ともに発達が著しい時期なことを踏まえ、グループ編成等工夫をしている。教育委員会

市道石川3号線の路面のへこみ

Q 石川橋を越えたバイパス方面に向かう区間で、路面のへこみや傷みが顕著で、早急な対応が求められるが。

A (名嘉賢都市建設部長) 令和7年7月に契約及び工事着手を行い、雨天などの状況にもよるが、工事完了を令和7年9月頃に予定している。



工事が予定される市道石川3号線

てんがん こうや 議員 (津梁)

防犯灯が設置されている場所に街路灯へ変更は可能か

答弁…自治会と協議の上変更は可能



市が設置する街路灯を増やすべき!

市管理街路灯は何基設置されているか。

市管理の街路灯は約1,000基。

自治会が予算を出し合って維持管理している防犯灯は何灯あるか。

自治会の防犯灯は7,023灯。

明らかに自治会が負担する防犯灯の数が多く、背景には自治会負担の防犯灯と市負担の街路灯の線引きが明確でなく、より市民の要望が通りやすい防犯灯が多く設置され



ていると感じる。本来街路灯を設置すべき場所に防犯灯が設置されている影響で自治会の負担が増加していないか。そこで街路灯の設置基準を本市独自に明記する必要があると考えるが見解を。

本市独自に明記するのは大変難しい。

本来は街路灯を設置すべき場所に防犯灯が設置されている場合、街路灯に変更は可能か。

協議の上、変更は可能。

※その他「子育て包括支援」等について質問しました。

連携強化



こうき いさむ 幸喜 勇 議員 (かけはし)

個人の同意に基づく個人情報利用提供での情報共有を提案

答弁…福祉部と子ども未来部の業務から導入の可能性を検討



島しょ地域の未来図

観光業界で大切なのは誘客と受入れの両方を整備する必要があり、観光客と地域住民の視点を意識して取り組むことが重要。中間支援組織を活用して行政ができること、民間ができることをきちんと話し合っ、島しょ地域の今後の在り方を決める必要があると思うが見解を伺う。

金城企画部長と島しょ地域の振興を図っていく上で、地域住民のみならず、地域活性化の取組を行っている団体とも意見交換を重ねて施策の在り方を検討する。

福祉行政

う、県や国に対してその体制づくりを要望することを提案。

平時からコミュニケーション支援ボードやアプリ活用で、災害時でも情報共有がしやすくなるための導入を提案したが。

田崎福祉部長 令和7年3月に簡易版と通常版の2種類のオリジナルコミュニケーション支援ボードを作成。

障がい福祉ガイドブック作成の進捗状況は。

令和7年3月に2,000冊納品。障がい福祉課窓口で市民の皆様や支援者、庁内外の関係機関などへの配布、市ホームページのPDF版の公開など、多くの皆様に幅広く活用いただくための取組を推進。

リチウム蓄電池等の適正処理

リチウム蓄電池は破損・変形により発熱・発火する危険性があり、多くの地域の廃棄物処理施設や収集運搬車両等に於いて火災事故等が起きている。処分先が県内にある自治体が回収できるよ

かみだ よういち
神田 洋一 議員 (津梁)

さくらねこ無料不妊手術チケットを個人でも申請可能に



答弁…申請できない地域の改善に向け活動団体と協議・検討する



外国人向けの家庭ごみ分別等の周知

外国人移住者が増加傾向にあり市配布の英語版分別案内の改善を求める声がある。英語版ポスタータイプの検討を伺う。

市HPで英語版の「家庭ごみの分け方・出し方」を掲載し、英語版のポスター化やラミネート等に取組む。

TNR活動を行う自治会等の支援

捕獲器の保有数量と貸出し実績を伺う。

現在捕獲器の保有はないが、購入や貸出し等も含め検討中。

アナログ規制の見直し

市民負担軽減のため、行政手続きでの押印廃止の現状と今後の取組を伺う。

(山入端総務部長) 1,691件中898件を廃止。残りも国の法令等を

確認し、今後も見直し可能を含め整理していく。

子供たちの運動機会の創出

子供たちの体力低下が課題。学校教育以外での市の取組を伺う。

(岸本経済産業部長) 大会等で優秀な成績を収めた18歳以下への県外派遣補助(一人上限5万円)も創設済み。新たに設立された「うるま市相撲連盟」の活動支援等、今後も関係団体と連携しスポーツ参加機会の確保に努める。

安慶名交番後の緑地帯活用

県管理の緑地帯だが市街地であるこの地のにぎわい創出のため、市が管理主体となつての有効活用を提案する。

(名嘉眞都市建設部長) 権限移譲は県との協議により可能だが、費用対効果の検討を慎重に行う必要がある。

まかべ あさひろ
真壁 朝弘 議員 (新政クラブ)

渋滞緩和

石川ICからマックスバリュ通りへ橋を架ける道路整備は

答弁…今年度予備設計、次年度以降実施設計整備工事等を予定



石川警察署前交差点渋滞対策

ジャングリア開業に伴う交通渋滞がさらに深刻化するの見込まれる。「短時間で車線の入替え工事」を検討している」と伺っているが現在の進捗状況を伺う。

(名嘉眞都市建設部長) 金武町方面への右折を2車線化する短期的対策を検討、北部国道事務所との協議を進めている。

将来的な渋滞対策として高架橋等の大規模インフラ整備が不可欠だと考える。

まずは短期的な渋滞対策を実施し、交通の状況を確認する必要がある。



渋滞が懸念される石川警察署前交差点

石川岳のロープウェイの設置

ロープウェイの設置進捗状況を伺う。

(金城企画部長) 自走式ロープウェイは長い距離にも対応。登山用の用途だけではなく都市の移動手段にもなり得る。引き続き情報収集に努め、調査・研究していきたい。

県営石川団地建て替え

団地建て替えに伴う新築後の再入居の保証、水道用ポンプ発電機設置、駐車場確保について。

(田場都市建設部参事) 建て替え後の再入居は保証されていて、希望であれば移転先の団地へそのまま定住も可能である。停電対策として発電機能付き給水ポンプを計画している。駐車場は身障者専用6台、計182台を整備する。

※その他「部活動サポート指導者派遣」「石川多目的ドーム隣公園の北側奥の駐車場新設」「横断歩道白線整備を早急に」「高速道路高架橋下の駐車場と公園整備」「戦闘機の騒音改善」について質問しました。

こくば せいごう

國場 正剛 議員 (津梁)

あげな中学校運動場整備について



答弁…学校側と日程を調整し、再度整地を行う予定



福祉行政

- ◎障害年金認定審査のばらつきについて。
- ▲(松岡市民生活部長) 今後の国の動向に注視するとともに、来庁する市民へ申請書作成についてサポートを引き続き実施していきたい。
- ◎孤独死、孤立死について。
- ▲(田崎福祉部長) 孤独死、孤立死を未然に防ぐ支援として、ひきこもりや孤独・孤立の状態となっている人については、社会福祉協議会や地域包括支援センター、自治会等の様々な団体と連携しながら、見守りや必要な情報の提供、関係機関や専門機関へのつなぎを行っている。
- ◎通学時における移動支援について。
- ▲通学される本人の心身や保護者等の状態により通学が難しいなど、状況を確認しながらサービスの決定をしている。
- ◎権利擁護について。
- ▲平成25年度から事業開始し、現在うるま市権利

擁護センターにおいて、御自身で判断できるうちに、地域での生活を安心して過ごせるよう、自分に必要な福祉サービスを選び、日常的なお金の管理などの支援について契約をしていく。

◎早期療育等支援事業について。

▲(上原(こども未来部長) 発達の子になる未就学児童の早期支援を目的に、心理面や言葉の発達に関する相談等を心理士等の日々雇用職員や委託先の専門機関で対応する事業となっている。

モータースポーツの振興

◎市内で活動するモトクロス団体との連携について。

▲(金城企画部長) モトクロス競技についても、イベント事務局と調整の上、連携について検討していきたい。

いけみやぎ よしのぶ 池宮城 善伸 議員 (かけはし)

東洋大学陸上部を積極的に誘致できないか

答弁…合宿実現に向け誘致活動に取り組む



スポーツ合宿誘致

◎うるま市出身、平川慧氏は、1600mリレーで見事日本学生新記録を25年ぶりに達成する活躍をしている。合宿誘致に向け与那城陸上競技場のトイレ、更衣室、シャワールーム、グラウンド照明の充実も大切だと思いが。

▲(岸本経済産業部長) 充実が求められる機能について、関係者の意見やニーズ把握を踏まえ検討する。

子育て支援

◎うるま市は、死亡者数が出生数を上回っている。急速な超少子高齢化に突入する。国の給付もそうだが、優遇される世帯と適用外の世帯がある。出口の見えない物価高、若者、現役世代への子育て支援策が必要だと思いが。

▲(上原(こども未来部長) 若者、現役世代の子育て世帯への物価高騰の影響は大きい。子育て支援について財源確保も含めて調査・研究する。

あげな中学校グラウンド整備

◎全面整備と伺っていたが、予算の都合で内容が縮小になったのか。

▲(兼城社会教育部参事) 限られた予算の中、学校側と協議し、最も悪い部分の整地を実施。今後は再整地後の状態、学校側の利用状況も確認し対応する。



当時の運動場だけが整地した状況から整備に至った理由を説明し、けがのリスクが出ないように訴える

道路安全対策

◎あげな小学校児童が通学路として利用する里道整備の進捗は。

▲(名嘉眞都市建設部長) 令和7年6月に舗装工事が完了。



舗装工事を終え、児童が安全に通学できるようになった里道

たまもと ちか せ
玉元 哉世 議員 (かけはし)

小・中学校学習端末の令和8年度更新整備財源計画は

答弁…国の補助、デジタル活用推進事業債活用を含め財源を確保

学習環境



小・中学校タブレット端末、電子黒板

○オンライン授業が実施できなかった要因と今後の対応方針は。
△(松岡学校教育部長) 一部学校で未実施。ICT支援員によるサポート、予備機の増強などにより学校を支援したい。

防犯灯

○自治会加入低下の進む中、維持管理が難しくなることが予想されるが。
△(松岡市民生活部長) 今後の補助の在り方を検討している状況。
○防犯灯の電気料削減のため、ペロプスカイト太陽電池、レドックスフロ―蓄電池を合わせて防犯灯・学校施設・公共施設など電力供給利用に調査・研究できないか。
△将来的な低コスト化も期待できる。調査・研究を行っている。

公文式リアラ新赤道前交差点

○5月に発生した交通事故故について伺う。
△(松岡市民生活部長) 速度超過、一時停止せず交差点に進入した事故。

米原・新赤道・赤道の課題

○兼筒段18000-1付近外側線の設置は。
△(名嘉眞都市建設部長) 外側線は8月までに施工。グリーンベルトは今後検討。
○米原区さまみ食堂付近歩道舗装工事の計画は。
△6月末までに完了予定。
○赤道区川崎川崩れた間知ブロックの応急工事を行った箇所の管理対応は。
△大雨時はパトロールを行い、速やかに対応する。
○赤道小学校体育館工事中、体育館の利用等、代替案はないか。
△(兼城社会教育部参事) 相談があった際は可能な範囲で調整する。

競艇舟券

い も り さ ち こ
伊盛 サチ子 議員 (日本共産党)

川田区への競艇場外舟券売り場建設計画、市長の見解を

答弁…土砂災害計画区域等に指定され、ハードルは高く厳しい



川田区ボートレース場外舟券売り場建設計画

○川田地区内のボートレース場外舟券売り場建設計画予定地の場所について、市の条例での用途の位置づけを伺う。
△(松岡市民生活部長) 場所によっては、農振法、都市計画法及び建築基準法が適用される可能性がある。
○特例での許可及び許可条件を伺う。
△(座喜味農林水産部長) 建設予定地が農振地域の農用地区域に含まれる場合、原則として農地以外の用途に利用することはできない。農用地以外の用途に供する場合は除外手続きが必要。要件を全て満たし、関係法令等の許可認可の見通しがあり、十分な事業計画がある場合に限り、除外申請は関係機関の意見聴取、県との協議を行い可否が決定される。
△(田場都市建設部参事) 市特定用途制限地域における建築物等の制限に関する条例でも原則建築不可である。8条に適用除外があるが「当該区域の良好な環境を害するおそれがないと認められるか又は公益上の事業として認められるもの」が許可条件となる。



建設計画予定地周辺の様子

○農地以外の用途には利用できないとのことだが申請は難しいとの判断なのか。
△(中村市長) 川田公民館の後背地に建設が予定されていることは認識している。その区域は一部土砂災害警戒区域等にも指定され、用途、中身、土地に関してはハードルは高く厳しい。

※その他「宮城島からの土砂搬出」について質問しました。

くによし りょう
国吉亮 議員 (希望のいぶき)

川田区への場外競争販売所は 生徒に悪影響を及ぼさないか

影響懸念



答弁…このような施設の建設には
反対の立場を取らざるを得ない



川田区モーターボート競争場外建設

◎教育の観点や健全な児童・生徒の育成においてモーターボート場外競争販売所は悪影響を及ぼすと考える。教育に与える影響をどのように考えているのか。

▲(嘉手苅教育長) 川田区への場外販売所建設計画には教育の観点から大きな懸念を抱いている。青少年に与える心理的、社会的影響は決して軽視できない。このような施設が地域内に存在すること自体が地域環境や治安への影響が懸念され、教育の観点からは望ましいとは言えない。教育委員会としては、青少年の健全育成と安心・安全な学習環境を最優先する立場から、このような施設の建設には反対の立場を取らざるを得ないと考えている。

市民からの声

◎石川野球場周辺の照明の要望、その後の進捗は。▲(岸本経済産業部長) 令和7年3月24日に新たな照明器具の設置が完了。



新たに照明器具が設置された石川野球場周辺

◎石川庁舎内掲揚ポール修繕の要望、その後の進捗について。

▲(田場都市建設部参事) ロープの取替え修繕を行った。



無事に行われたこいのぼり掲揚式

※その他「本市独自の不妊治療への要望」「市民からの声を問う」「防災備蓄倉庫」「石川地域まちづくり推進計画」について質問しました。

みやぎ かずとし
宮城一寿 議員 (うるま市民クラブ)

市民目線

2市2町が合併し20年の 新うるま市の検証は

答弁…新市建設計画で108事業の内103事業が完了、残り5事業



川田区競艇券売場建設計画

◎計画に対し、事業主から市長へ挨拶があったか。▲(中村市長) 企業の面会はない。

◎感動産業特区の本市をギャンブル特区にしてはならない。市民が一獲千金を狙ってギャンブルに走り家庭崩壊になりかねない。市民の年金、給料が1日2,000万円、年間70億円が吸い上げられる競艇券売場建設計画の市長見解を伺う。▲申請等がないことから、農地、都市計画法上の問題、教育委員会の見解を踏まえ、案件が行政手続に上がったら、きっちり意見を述べる。

具志川小学校運動場整備

◎運動場整備の現状は。▲(田場都市建設部参事) 令和8年3月頃完成予定。▲(岸本経済産業部長) 小学校運動会及び区民運動会は具志川ドームを予約済み。

島しょ地域の地区別課題

◎津堅島内工事に伴う安全管理と雇用について。▲(田場都市建設部参事) 事故防止を念頭に仕事を進める。雇用に関し、受注者に協力依頼等を行う。

◎浜ビーチ利用者への注意喚起表示と公衆トイレ内水浴び禁止看板設置を。▲(名嘉眞都市建設部長) 看板老朽化のため県へ要請。水浴び禁止看板を設置する。◎市長公約の平安座ウフバンタ事業について。▲(中村市長) 防災と津波避難所の観点から意見も聞きながら、しっかりと検討する。◎宮城島、上原公民館跡地活用について。▲(松岡市民生活部長) 所有する上原自治会が主体的に行うもの。◎伊計島、大泊ビーチの行政との貸付契約は。▲(島袋財務部長) 不法な問題が発生しないよう事業者・自治会等で協働し対応する。

地域再生



佐久田 悟 議員 (与開之会)

課題の多い地域自治会に対して支援等が必要不可欠だが

答弁…自治会の状況に応じたきめ細やかな支援が一層重要と認識



消防行政の現状と取組

Q市における火災件数の現状について伺う。

A(宮城消防本部参事) 令和6年中の火災件数は、56件で過去5年間で最も多い。

Q市内全域の住宅用火災警報器設置状況について。

A令和6年度中の住宅用火災警報器設置率は74%で令和5年度の67.3%から6.7ポイント上昇。

Q過酷な救急出動状況緩和に向けた日勤救急隊と「マイナ救急業務」について。

A(福地消防長) 日勤救急隊については昨年度2週間の試行運用を実施し救急出動の分散化、隊員の疲労軽減が見られた一方、救急車と救急隊員の確保等課題を確認。マイナ救急業務は、全6台の救急車で実証事業と運用開始に向け取り組む計画。

子育て支援事業

Q子供たちの発育にとって重要な5歳児健診への対応、取組について伺う。

A(上原(こども未来部長) 実施にあたっては医師、専門職員の確保、財源確保等課題があり県との意見交換、先行自治体等の調査・研究を進めている。

教育行政

Q生徒一人一人を伸ばす教育、子供たちが主役となる学校教育に向けて現場の教職員の声を聞き子供たちの様子を見て、問題があれば一緒に伴走支援できる体制が教育委員会には重要だと考えるか。

A(鹿川学校教育部長) 対話型研修、組織開発の推進で先生方を支援することが学校・教員の伴走支援につながると考える。

地域コミュニティ構築へ向けた取組

Q各地域自治会加入率の現状について。

A(松岡市民生活部長) 具志川41%、石川34%、与那城51%、勝連51%、平均41%。

金城 加奈栄 議員 (日本共産党)

津堅島へガソリンスタンド整備等、民間企業との協定は

答弁…課題を把握しどのような方法があるか検討したい



津堅島港湾区域等の舗装・整備・修復支援等

Q事業化に向けての進捗状況、沖縄県土木建築部港湾課の回答報告について伺う。

A(名嘉屋都市建設部長) 管理者の中部土木事務所から「転落防止柵は令和6年度で修繕完了。西地区のアスファルト舗装及びその他の要請内容について、他の港湾施設も多数修繕箇所があり台風等の緊急修繕の可能性もあるため、予算を見ながら舗装・修繕について検討中」との回答。

A(座喜味農林水産部長) アギ浜地区におけるウイオンチ及び小屋設置について港湾使用が可能との回答。今後は事業計画での採択や財源確保に向け取り組み、補助事業採択を目指していきたい。

Qウイオンチ及び小屋の設置の事業計画等についていつ予定しているのか。

A令和8年度以降の事業計画として、現在取り組んでいる。

ポートレース券売所建設予定地

Q建設計画について報告があったのか。予定地の地目はどのような場所なのか。

A(松岡市民生活部長) 市に対する同施設の説明等はなく、予定地は現時点において、市への建築許可等に関する申請ができていない。場所によっては、農業振興地域の整備に関する法律、都市計画法及び建築基準法などが適用されるなどの可能性があると考える。

Q公民館建設予算等について、防衛費活用項目の説明を伺う。

A防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用。

※その他「自治公民館建設」「教育行政」「ゴリラ―まつり」「こどもの居場所づくり事業」「離島振興」「歩道整備」「国民健康保険」について質問しました。



ま え し ろ た か し
真栄城 隆 議員（無所属）

所有者等の意向調査で、どのような意見があったのか

答弁…「売りたい、または貸したいが相手が見つからない」などの回答

空家対策



空家対策

Q 昨年度の実態調査の内容を聞く。

A (田場都市建設部参事) 市内全域を対象とした「このまま市空家等実態把握調査業務」を令和6年度実施。居住常態のない可能性が高い推定空家等の件数は881件。

Q 今後どのような対策を施していくのか。

A 当面の課題として、空家等の約3割を占める不良度の高い空家の適正指導を重点的に実施したい。

介護タクシー

Q 一般のタクシー会社で行っている配車予約サービスが構築できないか伺う。

A (田崎福祉部長) 事業者の運営状況やシステム導入に係るコスト等多くの課題があるため、他地域の事例を踏まえ、研究していきたい。

障害者医療費負担

Q 重度、心身障害者医療費助成制度は、戻ってくる立替えであっても、3か月程度の負担が大きい。こども医療で実施している現物給付、または那覇市社会福祉協議会で実施している医療費貸付事業を導入できないか伺う。

A (田崎福祉部長) 社会福祉協議会で行われている生活福祉資金貸付制度やうるま市パーソナルサポートセンターへの相談支援につなげていくなどの既存資源を活用することで支援が可能。

難聴者交付

Q 全国で集音器付き軟骨伝導イヤホンを設置する自治体が増えている。本市での導入取組を伺う。

A (田崎福祉部長) 現段階で導入に向けた取組は実施していないが、他自治体の導入の状況や効果等について研究する。

公共施設



な か ほ ど た か し
仲程 孝 議員（希望のいぶき）

公共施設のバリアフリー化に関連する本市の目標は

答弁…全ての人を使いやすく、安全・安心な利用を目標にする

赤道小学校近隣水路の氾濫防止策

Q 当該排水路の危険性及び周辺住宅や駐車車両に被害が及ぶ主な要因は何なのか。

A (佐久川副市長) 排水路断面を阻害する異物の流入などが主な原因として考えられる。また、上流部から下流部にかけて、排水路の断面不足の可能性もある。

Q 赤道自治会から水路の氾濫防止対策に関する要望が提出されているが、当局の対応を伺う。

A 冠水被害防止対策に係る整備について、全面的な改修工事の必要があるが、排水路整備に関しては市内各地域において整備の要望等、必要性が多数あることから、緊急性や優先度など総合的に勘案し、検討したい。

Q 雑木撤去などの清掃や水路のしゅんせつなど、定期的に適切な管理をすべきでは。

A 今年度は赤道小学校内排水路草刈業務を発注し、定期的に維持管理やパト

ロールによる不具合箇所の補修など、適切に管理を行っている。

公共施設のバリアフリー化

Q 高齢者や障がいをお持ちの方の公共施設バリアフリー化に関する意見は、本市ではどのように反映されているのか。

A (島袋財務部長) 建築物については沖縄県福祉のまちづくり条例、公園については市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例に基づいている。

Q 今後は高齢者や障がい者の意見が公共施設の在り方にしっかりと反映させられるような制度設計、協議の場を設けるべきでは。

A 移動等円滑化促進方針等の計画をする際には、協議会を立ち上げる必要があると考えている。先進自治体の状況を確認しながら、調査・研究を行っていく。

やましりょうた
山城 良太 議員 (希望のいぶき)

発達支援が必要な未就学児、 保護者とのつながり方について

答弁…乳幼児健診、保育所と連携し
つながることに努めている

教育 福祉



児童発達支援

◎就学前の発達支援を行ったことで、不登校の改善に結びついたか伺う。
 ▲(上原こども未来部長) 就学前の発達支援と不登校の関係性を示すことはできないが、就学後も支援教育を行い、安心して学校に通えるよう関係機関と連携し切れ目のない支援に努める。

教育振興基本計画

◎電子黒板など、ICT機器を活用した効果、学力向上に向けた取組について伺う。
 ▲(鹿川学校教育部長) 学ぶ意欲が全国、沖縄県と比べて上回った。学力については、学校、家庭、地域の連携を土台として実現できると認識。学習端末、電子黒板、ICT機器の活用において、自分に合った学び方を工夫することや、対話が生まれやすい深い学びを実現する。

人工透析患者数の減少を目指して

◎新規人工透析の減少を目指した取組と成果について伺う。
 ▲(古謝市民生活部参事) 重症化予防を図る目的のちゆらまーみプロジェクトを行っている。成果については、患者数は増加傾向だが、令和2年以降横ばいに転じた。また、人工透析導入者が平均年齢63.8歳から74.5歳に転じた。さらに、約3億円の医療費の縮減も図れた。
 ◎早期発見や予防に向けた取組のちゆらまーみプロジェクトが生かされるためには特定健診が重要。特定健診受診率の向上を目指した取組を伺う。
 ▲今年度から自治会、関係団体との連携の取組を強化する。行政区ごとの受診率や健康課題を共有し、自治会、医療機関、事業所訪問、広報つるまや大型ビジョンを活用した情報の発信を検討する。

安全 対策



くらねたけし
藏根 武 議員 (与開之会)

グリーンベルト (カラー舗装) の目的とは

答弁…歩道のない道路に緑で着色。
運転者に注意を促し、事故を防ぐ



地域活性化

◎浜比嘉島地域交流拠点施設の利用実績を確認すると減少傾向だが、要因と対策について。
 ▲(岸本経済産業部長) 新型コロナウイルスの終息とともにテレワークやワーケーションを推奨する企業も減少、比例する形で利用者数も減少傾向にあると認識。そのため、施設の新たな活用として、企業研修やスポーツ合宿など、個人を主体とした施設受入から、団体受入に対応することで集客増が図れないか一部実証を行った。
 ◎今後はどのような活用を考えているのか。

保育行政

◎情報通信技術を活用した多様な働き方を推進するため、ワーケーションやテレワークの利用促進を図っていくが、コロナ禍以降の社会情勢や人口減少が進む島しょ地域の状況も踏まえ、関係人口及びにぎわい創出を図る交流拠点として、企業研修や団体合宿利用など、柔軟な施設の利活用に取り組んでいきたい。
 ◎本市でも児童人口の減少が推計される。子供たちや子育て家庭をどう支援していくのかが重要。第3期つるま市子ども子育て支援事業計画の基本理念や目標は第2期計画と何が変わったのか。
 ▲(上原こども未来部長) 第2期では安心して子育てができる環境と子供の育ちを見守る環境の2つを掲げていたが、第3期では親が子を見守るという視点から、子供が育つという視点へシフトし、基本目標の「子供の育ちを見守る環境」を「子供が生き生きと育つ環境づくり」へ変更している。また、様々な背景や環境に身を置く子育て世帯や子供へもしっかりと支援を届けていくこととし、新たに一人一人を大切に育む環境づくりを基本目標として追加。

たまきまさや 玉城 政哉 議員 (かけはし)

物価高騰に対する農業従事者及び畜産農家に対する支援は

答弁…家畜の飼料高騰に対する助成事業を再検討しているところ

農家支援



うるま市田場1874番地道路拡充

Q市道赤野2-68号線、県道側から進入すると道路幅員が4.3m、市道側へ進むと幅員5mで緊急車両も入りづらい状況のため、早めの対策を。

A(名嘉賀都市建設部長) 当該市道の一部については幅員が狭く対面通行が困難な箇所があり、市道拡幅に対する地権者の意向を確認していく。

多目的ドーム環境整備及び指定管理

Q石川多目的ドーム周辺に雑草・雑木が繁茂している。早めの周辺整備ができないか。

A(岸本経済産業部長) 草刈りや樹木剪定についてはシルバー人材センターへ清掃管理業務として委託しており、早急に状況を確認し対応していきたい。

Q今後の管理について本市の見解を伺う。

A当該施設には職員が常駐していないため、施設

の不具合等が起きた際に迅速な対応が難しいことが課題であり、指定管理者制度導入も視野に検討する必要があると考える。

本市におけるイノシシ出没に関して

Q本市と鳥獣駆除団体との取組・連携はどのようになっているのか。

A(座喜味農林水産部長) 駆除の要請があればすぐに対応できるよう、密に連絡が取り合える体制を構築している。

Q令和6年12月より本市に出没して捕獲できたイノシシはいくつなのか。

A昨年12月から今年6月までに捕獲したイノシシは全部で8頭である。

Q捕獲にあたり、補助金などの支援は検討しているのか。

A鳥獣駆除メンバーから意見を聴取し、協議しながら検討していきたい。

おおしろ なおし 大城 直 議員 (かけはし)

今後の勝連城跡周辺整備事業の内容について伺う

答弁…物販・飲食施設の建物と周辺公園整備を予定している

勝連城跡



道路行政

Q市道勝連2-1号線は2度目の崩落だが、現在どのような整備を行い、いつ頃完成するのか伺う。

A(名嘉賀都市建設部長) 地すべり箇所の地下水位を下げるため、水平方向にボーリング調査を行う手法で、工事は完了は令和8年3月予定。

まちづくり構想

Q与那城地域まちづくり推進計画のあやはし館周辺、旧与那城庁舎周辺と県道37号線の整備に大いに期待しているが、具体的な取組について伺う。

A(金城企画部長) 与那城地域ではにぎわい創出に取り組み、マリンアクティビティの拠点づくりと滞在型観光に向けた取組を考えている。

Q多種目球技場西側にある駐車場は現在利用されていないが、土日祝日にキッチンカー等へ開放しにぎわい創出の場として活用できないか。

A今年度予定しているトリアル実証イベントの中で検討したいと考えている。

Q勝連地域まちづくり推進計画の勝連総合グラウンド再整備には、勝連B&G海洋センター敷地も含めた整備計画と聞いているが、現在の機能確保について伺う。

A(岸本経済産業部長) 現時点で建て替えの予定はなく、現機能は総合体育館に集約し、艇庫機能は勝連・与那城地域まちづくり推進計画の利活用方策の中で検討していく。

産業支援

Q東照間商業等施設にも送料支援の拡充ができないか伺う。

A(座喜味農林水産部長) 現時点では農水産業振興戦略拠点施設のうるまマルシェ以外での郵送支援拡充は考えていない。

い は ひろし
伊波 洋 議員（うるま市民クラブ）

市老連の独自の組織運営予算計上について、当局の見解は

答弁…次年度に事業受託、実施できる事業の見直しや調整を行う

老人政策



うるま市老連、独自の運営政策を

うるま市社会福祉協議会の老人クラブ連合会、支部組織の支援方について伺う。

（田崎福祉部長）市老人クラブ連合会と目指すべき方向性を整理、クラブ活動と多様な地域づくり関連事業の事業展開、生きがいづくり・健康づくりに資する事業の立案、地域福祉の推進に市老連が参画することを支援する。

うるま市の老人クラブ連合会、独自の組織運営予算計上について伺う。

活動推進員の確保に係る予算の検討はしていないが、次年度に向けて市老人クラブ連合会が事業を受託、または独自に実施できるように既存事業の見直しや検討を行い、組織運営の支援について検討していく。

うるま市の市税

市民から寄せられた固定資産税に対する意見・

声について、課税地目変更はしていないが、税金が高くなったと聞いている。これに関しての見解を伺う。

（島袋財務部長）評価替えを3年に1度行っている。利用状況の変更を把握するため、建築確認申請や農地転用申請、家屋滅失届などを資料収集し、現況の変更が認められた場合には、現地調査の上、課税地目を変更している。大幅な増額が見込まれる場合には事前にその理由を記載した通知を送付。納税通知書には課税の明細を記載しており、不明な点は資産税課に問い合わせを。評価に不服がある場合は、通知書受領から3か月以内に固定資産評価審査委員会に審査申出を行う制度がある。

※その他「地域まちづくり事業」「予算」「石川地域の今後の政策」等について質問しました。

たか や ゆう
高屋 優 議員（新政クラブ）

福祉政策

自殺率の改善のため具体的目標を定め、うるま市総合計画へ

答弁…現在の計画の内容を踏まえ、関係課と協議し検討する



自殺率の改善

うるま市の自殺率は全国・県平均を上回っている。要因や現行対策、令和7年度以降の施策、次期総合計画への目標設定について伺う。

（古謝市民生活部参事）主な要因は経済・家庭・健康問題で、相談支援体制の強化により改善傾向。現在は広報や相談窓口の整備を進めており、令和7年度からはゲートキーパー研修の強化も予定。総合計画への数値目標の設定については、関係課と協議の上、検討中。

生活保護割合改善

生活保護世帯や扶助費の増加、外国人の受給状況、早期支援、不正防止、就労支援、車両保有の運用について確認し、次期総合計画への目標設定を定める。

（田崎福祉部長）世帯数・扶助費ともに増加傾向。不正防止や就労支援体制を強化し、車両保有は柔軟に対応。今後も生

活困弱者支援を課題とし、総合計画に具体的目標をしっかりと位置づけて、関係課と協議した上で検討する。

ひきこもり支援

大人のひきこもりについては長期化しやすく、親の高齢化も問題となってくる。児童・生徒の不登校が社会問題となっている現状も踏まえ、8050問題や孤立死などに対応するため、教育委員会との連携や総合計画への支援方針の位置づけを伺う。

（田崎福祉部長）ひきこもりとは様々な要因で社会参加を回避し、長期にわたり家庭に留まる状態を指す。全庁連携で早期発見・支援体制を整備。不登校との関係も含め、教育委員会と連携し、次期総合計画に支援方針を反映するかも協議し検討する。

かねもと みつはる
兼本 光治 議員（与開之会）

究極のクリーンエネルギーの水素ステーションの取組は

答弁…庁内利用実証実験等、水素エネルギー需要創出に取り組む

重点
拠点



避難路（屋敷名地区）

Q 昨今の大雨で避難路から民家敷地内に雨水が流れ込んだ件について、屋敷名地域に整備された避難路の現状を確認した見解は。

A（名嘉真都市建設部長） 現地確認の結果、指摘のように降雨時の雨水が屋敷内に流れ込むことが予見できた。

Q 今後について伺う。

A 雨水流入対策として、側溝を設置するなど、対応したい。

道路行政

Q 市道与那城13号線は、地権者と行政で行き違いが生じ、放置された危険区域道路であるが、現状を伺う。

A（名嘉真都市建設部長） 約30mの一部区間で未整備箇所がある。

Q 今後について伺う。

A 当該区間の整備に向け、隣接地権者との協議を行っているかと思っております。

水素ステーション

Q 水素ステーション事業について、市の取組を伺う。

A（岸本経済産業部長） 今年度、水素まちづくり推進事業で庁内利用の実証実験や学識経験者等による協力体制を構築し、市内での需要創出に取り組む予定。

勝連浜・人工ビーチ

Q 浜自治会からの要望書について市の見解を伺う。

A（名嘉真都市建設部長） 要望を受け、中部土木事務所に進達を行っているが、改めて確認したところ、運営事業化については、指定管理者制度の導入は収益関連施設等の管理施設がないことから厳しいと考えるとの回答であった。



自治会から運営事業化の要望書がでている勝連浜・人工ビーチ

うえにし まり
上西 真理 議員（うるま市民クラブ）

県道道路照明が暗く感じるため、県へ財源確保要請実現を願う

答弁…増設に向けた財源確保要請を中部土木事務所へ行う

県へ
要請



投票用紙へのボールペン記載

Q 投票用紙書き換えや鉛筆の文字が消えるのはと不安感情が大きい。ボールペンで投票可能か。

A（眞志選挙管理委員会事務局長） 投票所備付け鉛筆以外で記載の投票も有効。

マイナ保険証保有者の国保資格確認書未送付

Q マイナ保険証保有で国保加入者全員に資格確認書を市で交付できないか。

A（古謝市民生活部参事） 国の一律交付経費の予算措置がない。

Q 医療機関トラブルの数について。

A 国が対応するため、市では把握していない。

よなしろ地域共生センターちよこつと開設

Q 駐車場の増設予定は。

A（田崎福祉部長） 状況を見て関係課と検討。

Q 洋式へのトイレ修繕は。

A 改修を検討する。

与勝団地の路上駐車解消対策

Q 特例として契約のない空き駐車場を2台目駐車場として活用できないか。

A（田場都市建設部参事） 一時的でも有効活用することで、問題改善の可能性があるため検討する。

旧与那城庁舎周辺ロードパーク利活用

Q 旧庁舎跡地活用時、今後20年を見据えた計画であるのか。

A（金城企画部長） 今後20年以上を見据えた活用案絞り込みが必要。

Q 旧与勝半島の一周道路との兼ね合いは。

A 観光周遊道路として回遊性の向上が期待できる。

※その他「場外券発売場建設計画」「投票箱管理、共通投票所検討、若者選挙率向上」「マイナ免許証」「新石川調理場」「勝連城跡入場料」「アルコールチェック」等について質問しました。

競艇券



伊礼正 議員 (うるま市民クラブ)

一部区民での賛否を決することについて行政の考えを伺う

答弁…その区域に住む全住民の意見を酌み取る姿勢が望ましい



市の地域経済が支える福祉とは何か

◎地域経済が福祉を支える好循環型の具体的な対策、プロジェクトについて伺う。

▲(岸本経済産業部長) 地域経済が活性化し、その財源を基に医療・介護・障害・子育てなど、住民の福祉の増進に資する事業を展開し、社会福祉を支えたい。

石川・勝連・与那城のまちづくり

◎各地区のまちづくりの構想、現在進行中の事業があれば、進捗状況を伺う。

▲(金城企画部長) 令和4年度に各まちづくり推進計画を策定し、短・中期的に優先すべきリーディングプロジェクトを位置づけている。

川田区競艇券販売場建設

◎舟券販売場について市長の考えを伺う。

障害年金

◎申請はしたが不支給となったその理由は。 ▲(松岡市民生活部長) 認定審査は、日本年金機構障害年金センターが担っており、詳細な理由は把握困難である。

市長就任式

◎中村正人後援会が就任式の模様をSNSで発信している。後援会を案内したのか。後援会は政治活動団体と思うが、当局はその性格をどう捉えているのか。政治団体の公共施設での政治活動について当局の見解を伺う。

▲(山入端総務部長) 案内は行っていない。政治団体の詳細は把握なし。公共施設での政治活動については出席が確認できなかったため答弁は控える。

天願久史 議員 (津梁)

農業振興

セグロウリミバエ根絶まで家庭菜園のウリ類栽培自粛周知

答弁…防災無線を活用した注意喚起は被害拡大防止対策に有効



与那城総合公園に関連する事項

◎近隣には与那城地区公民館や給食センター跡地もあることから一体的に整備すべきと考えるが見解を伺う。

▲(金城企画部長) 駐車場としての土地利用や住居エリア、にぎわい施設の補完エリアなど、民間事業者との対話を踏まえ総合的に検討。

生ごみ処理機等購入助成事業

◎当該助成金を活用した購入者に対しアンケートなどの調査を行ったのか。

▲(松岡市民生活部長) アンケート等の実績はない。今後はメリット・デメリット、ごみ減量化への効果等の感想を集約し事業促進が図られるよう実施に取り組む。

公共施設における喫煙に関連する事項

◎主要公共施設において衛生環境を守る観点から

分煙型喫煙所のモデル設置や民間協力による設置の可能性について。

▲(田場都市建設部参事) 周辺住民や施設利用者、職員の受動喫煙防止の観点から有効な対策。他自治体事例や民間協力の可能性も情報収集し調査・研究を行う。

マンホールに関する事項

◎マンホールカードを導入した際、どのような経済効果が期待できるのか。 ▲(座間味水道部長) 収集を目的として地域への来訪者の増加や観光振興、地域経済の活性化につながるかと考えている。

◎新総合体育館建て替えの際、オリジナルなマンホールデザインの検討について。

▲(岸本経済産業部長) ご当地マンホールの設置は地域経済だけでなく様々な分野で効果が得られており、関連部署と連携し検討する。



不足解消

今後の祭りの方針・在り方

◎つるま市としての祭りの方針を伺う。

▲（岸本経済産業部長）石川みほそ祭り、つるま市エイサー祭り、よかちやーフェスをつるま市を代表とする祭りとして最適化を図り実施する。



石川地域まちづくり推進計画

◎石川庁舎周辺整備に關し、石川漁港製氷機進捗と漁具倉庫等の整備について伺う。

▲（座喜味農林水産部長）製氷施設の改修工事は年度内に終了予定。漁具倉庫については石川漁協において、防衛施設周辺民生安定施設整備補助金を活用した令和8年度事業採択を目指し、関係省庁と調整中。

与那城総合公園陸上競技場

◎今後のスポーツコンベンションに係る取組は。

▲（岸本経済産業部長）与那城総合公園陸上競技場はジュニア・学生等のアマチュアサッカー競技の練習や合宿に重点を置き、プロサッカーチームは具志川多種目球技場とすみ分けた利活用を展開したいと考えている。

勝連城跡周辺整備

◎新たな運営事業者が決まったが、その役割と市内事業者との連携を伺う。

▲（金城企画部長）運営事業者は（株）勝連城跡PFI特別目的会社で指定管理業務をはじめ、公園内の公共事業の実施、宿泊施設の建設等も予定され、建設工事等は市内事業者への発注予定額が示されている。

※その他「仲嶺・上江洲地区の進捗」「遊休農地の利活用」「畜産振興」「米価格高騰に係る影響」等について質問しました。

たいら かずお 平良一雄 議員（新政クラブ）

遊休農地の面積は。また、不足している草地面積は

答弁…遊休農地222ha、不足している草地面積、47.05ha



しもじょう まさる 下門勝 議員（津梁）

冠水対策

県道36号線沿いは冠水時に陸地と水路の区別がなく危険

答弁…注意喚起の看板を設置するなど安全対策を実施する



リチウムイオン電池及びモバイルバッテリー等の回収、廃棄、処分等

◎廃棄物処理法及び小型家電リサイクル法では、市町村がその収集や再資源化に關与する責務等が明確に求められている。全国的に多数の火災が発生している危険な廃棄物であり、本市で「回収しない、できない」という姿勢は法的にも適切ではなく市民の安全と信頼を損なうおそれがある。そこで、市として責任ある対応と計画的な処理体制の再構築を早急に進めるべきと考えるが見解を伺う。

▲（松岡市民生活部長）今後、中環北環境施設組合、ごみ収集運搬業者と協議を行い早期解決に向けて取り組んでいく。

うるま市議会議員選挙に關連する事項

◎一方に有利な票しか再点検されていない状況下で、800万円という多額の賠償金の和解勧告が本定例会に上程されている。市民の血税から支出される賠償金について、議会として妥当性・必要性を検証する責任がある。今回の和解勧告について、賠償金の支出に市民の理解と納得を得るためにも全ての票について再点検し正当性を改めて確認・証明することが必要であり、選挙管理委員会に対し全ての票の再点検を強く要望するが見解を。

▲（眞志遠選挙管理委員会事務局長）行政実例から、全ての票の再点検は困難であると考えている。

闘牛の日制定に關連する事項

◎合併20周年を記念し本市が誇る闘牛文化のさらなる発信・継承のためにも、10（闘）月9（牛）日を闘牛の日とし公式に制定することを要望する。

▲（岸本経済産業部長）関係団体や関係部署間で検討する必要があると考えている。

い は よし あ き
伊波 良明 議員 (津梁)

公共施設間連絡バスの石川 中頭病院線を考えるが見解は

答弁…路線バス等があり、既存の
移動手段を活用してほしい



中頭 病院

交通政策関連

- ◎島しょ地域タクシー配車支援事業の目的と実績、支援金額を伺う。
- ▲(名嘉眞都市建設部長) 令和5年度から実施。タクシー配車先と件数に応じ事業者の配車にかかる負担を支援。5年度は1,411件、約86万円。6年度は1,422件、約108万円である。
- ◎伊計屋慶名線の負担金や彩橋小中学校のスクールバス運営事業費を合計すると約5,245万円。公共施設間連絡バス運営事業費の2.5倍。公共施設間連絡バスへの移行を考えるが、見解を。
- ▲次年度に地域公共交通計画を策定することから、その中で伊計屋慶名線の運行事業者とも意見交換しながら運行サービスの在り方を検討したい。
- ▲(鹿川学校教育部長) 現状、移行は課題が多く、都市建設部とも意見交換していく。

公用車関連

- ◎令和元年は乗用車192台、うち供用車が27台でその後も公用車削減を求めてきた。6年に公用車管理システムを導入し集中管理したが効果は。
- ▲(島袋財務部長) 6年度末時点で141台、うち供用車は87台である。
- ◎システム導入で全車供用車化は可能では。
- ▲可能だが特定補助金購入の5台は控えたい。引き続き適正管理に努める。

県営石川団地関連

- ◎隣地境界の雑木林化した斜面の造成工事等について県と市の見解は。
- ▲(田場都市建設部参事) 県は造成工事の詳細設計を進める中で検討のこと。市は内容を確認しながら意見交換する。
- ◎市有地の活用として民間機能の導入は。
- ▲(金城企画部長) 福祉交流、防災等複合的機能を備えた施設を計画。民間機能導入は事業者ニーズ等も踏まえ検討。

活動 支援



また よし のり ひ さ
又吉 法尚 議員 (希望のいぶき)

部活動地域移行で指導者配置 や練習場所確保への対応は

答弁…人材バンク等構築や学校施設
開放等、関係部署と協議する



あやはし海中ロード レース大会

- ◎ここ数年、同大会は3月の第1日曜日に開催されている。来年の大会は3月1日が日曜日になり、県立高校卒業式と重なる。高校生の参加はもちろんのこと、保護者、学校関係者、卒業記念マラソンと団体出場ができなくなるが、開催日を3月8日に変更することは可能か。
- ▲(岸本経済産業部長) 次回大会開催日については、7月開催予定の大会実行委員会において審議・決定されるが、指摘のとおり例年どおり開催の場合、県立高校卒業式と重なることを踏まえて審議していきたい。
- ◎小人の参加料を団体割を活用し、1,000円もしくは1,500円まで引き下げてほしいが。
- ▲小人、子供の団体割参加料の値下げについては、経済的負担の軽減を図り、参加しやすい環境づくりには有効だが、実施は大変難しい。企業協賛や販売促進機会の提供等によ

る資金調達強化や運営コスト見直しなどにより値下げが可能か検討を要する。

- ◎市内小・中・高校生が団体で出場した場合、(仮称)うるま市学校団体割引を新設し、1,000円もしくは1,500円に参加料値下げは可能か。
- ▲参加料全般の設定は、大会実行委員会での審議・決定されるため、提案の市内小・中・高校生の参加料値下げについては実行委員会において審議・検討したい。

中学部活動「地域移行」による経済的負担

- ◎部費の高騰による保護者の経済的負担への補助。ユニフォーム代補助で応援を。
- ▲(鹿川学校教育部長) 係る課題を整理し、どのような対応が可能か検討したい。

令和7年6月定例会常任委員会の審査概要

委員会に付託された議案・発議案・請願・陳情について、各常任委員会が担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

総務委員会

当委員会では、議案9件、陳情2件を審査した。

主な審査内容として『うるま市勝連城跡文化観光拠点施設条例の一部を改正する条例』について、委員から「今回の条例改正において、土地の使用について規定された経緯と、今後の駐車場料金の徴収について」質疑があり、当局から「これまで、土地を使う場合の使用料については、公有財産規則に基づき許可を与えてきた。今後は、当該拠点施設の隣に公園もできることから、当該拠点施設と公園の運用が違うというのは、整合性が取れないため、今回、都市公園条例に合わせる形で、土地の使用を条例に規定している。また、駐車場料金については、現段階で指定管理者は徴収する考えはないようであるが、今後、徴収し管理運営費に充てる考えもあるので、条例にある上限500円を超えない範囲で、検討されていくものと考えている」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情1件は趣旨採択、残り1件は継続審査となった。

建設委員会

当委員会では、議案3件、陳情3件を審査した。

主な審査内容として『令和7年度うるま市下水道事業会計補正予算(第1号)』について、委員から「収益的支出1款1項1目36節工事費について、詳細な説明を」との質疑があり、当局から「うるま市石川東山本町の石川郵便局付近の市道において、昭和53年に敷設された下水道管に腐食が発生し、道路が約28メートルの区間で、10センチほど沈下した。元々、令和7年度に下水道管カメラ調査を行う予定の箇所であったが、調査前に道路沈下の通報があり、その後、カメラ調査で改めて腐食が確認された。そのため、緊急対応という形で増額補正としている」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情3件は継続審査となった。

教育福祉委員会

当委員会では、議案3件を審査した。

主な審査内容として『うるま市立公民館条例の一部を改正する条例』について、委員から「今回の改正において、所掌する区域の記載が削除されるが、その理由は」との質疑があり、当局から「改正前の条例では、各地区公民館において、所掌する区域を記載していたが、居住地以外の地区公民館を利用される市民も見受けられることから、実情に合わせ、今回、所掌する区域の記載を削除して整理を行った」との答弁があった。また、委員から「説明資料の中で、与那城地区公民館は老朽化が進んでいるため、令和6年12月から利用を停止しているところがあるが、これまで活動していた団体等はどうか」との質疑があり、当局から「勝連地区公民館に場所を移して、活動を継続している」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。



老朽化が進み、利用者の安全を考慮して令和6年12月から利用を停止している与那城地区公民館

市民経済委員会

当委員会では、議案2件、陳情7件を審査した。

主な審査内容として『令和7年度うるま市一般会計補正予算(第1号)』について、委員から「オンライン窓口導入事業、特別旅費について」質疑があり、当局から「各出張所市民課窓口では、福祉関連手続などの窓口も担っているが、職員対応スキル維持に課題があることから、当該事業において各出張所窓口で本庁舎にいる各担当課職員が申請書の書き方などのサポートをリモートで対応できるように窓口の導入を進めている。今回の補正予算で計上している特別旅費については、既に導入・実施している茨城県土浦市の先進事例を視察するためのものとなっており、本市のオンライン窓口導入に生かしていきたい」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情7件は継続審査となった。

本会議での主な討論（6月定例会）

議案第44号 損害賠償の額を定め和解することについて



▼反対討論【天願こうや 議員】

本案については、令和4年10月2日執行のうるま市議会議員選挙における当選結果への不服申し立てを市選挙管理委員会が棄却し、その後の県選管による再開票の結果、原告が当選人となり、市の選挙事務に過失があったとして、原告から損害賠償請求がなされたことについて、裁判所から和解勧告が出され、市がそれに応じる内容となっている。しかし、市が行った事務は、法令に準拠した適正な手続が取られており、不服申し立て棄却の判断については市に過失はなかったと考える。一方、県選管の再開票は、原告が主張した特定の票のみが再開票の対象とされ、対立候補が求める類似票や他の票については再点検されなかった点について、大きな問題があると考える。票全体の再確認がされないまま当落が逆転したことをもって市の過失を問うことは一方的で、原告の主張のみが認められた今回の判断は、行政・司法双方の中立性に疑問を生じさせるものである。和解に応じる前に、全ての票を徹底的に確認する必要がある。また当選が認められるまでの間、原告は議員活動をしておらず、その期間分の報酬を損害賠償として支払うことについては、市民の理解を得られるのは極めて困難であるため反対する。

議案第6号 公営競技の場外発売所設置に反対する決議



▼反対討論【下門勝 議員】

今回の決議案は、公営競技の場外発売所に関する今後すべての計画に反対する内容であることから、反対の立場である。申し上げておくが、私は公営競技の場外発売所そのものに賛成の立場をとっているわけではなく、この件は様々な論点があり、慎重な議論と地域住民の理解が重要だと考える。その上で、本決議案の抱える根本的な問題、すなわち将来的な地域との議論や住民意思による判断の機会までも一律に封じるような内容であることに対して強い懸念を持っており、到底容認できるものではない。市内全域に対する決議案であり、今回、計画構想のある川田地区も含まれると解するが、本地区は地域住民の中で賛否が分かれ、今後も住民説明会や住民投票といった民主的なプロセスの中で真剣に議論が重ねられていくべき。そうした地域ごとの議論や判断を飛び越え、市内への今後一切の設置を否定する決議を議会として先んじて行い、地域の意思や合意形成を尊重せずに、それを封じ込めるような包括的禁止を打ち出すことは、地方自治の否定にも等しい暴挙ではないか。議会の責任とは、一部の感情的・扇動的な動きに迎合することではなく、市民の多様な声に真摯に向き合い、冷静に未来を見据えて判断することにあるはずで、市民の意思形成を封じ込めるような決議には反対である。

賛成討論【伊盛サチ子 議員】



本決議案は、うるま市内に設置させない決議であると理解する立場から討論する。うるま市のまちづくりの将来像にある「住みよいまち」とは「人と人との温かいつながりのもと、人と自然、そして歴史が共生し、活力に満ちた地域社会を実現すること、誰もが住みたい・住み続けたい・住んで良かったと思えるまちづくりを目指す」とある。この理念を掲げるうるま市に公営競技の場外発売所設置はこれからのまちづくりにも影響を及ぼすことも予測され、市内への設置はさせないという態度で臨むべきもの。日本は世界一のギャンブル大国と言われ、ギャンブル依存症を生み出し、それに伴う家庭崩壊、社会の進展や青少年の健全育成にも重大な影響を及ぼす可能性がある。また、交通渋滞やごみの散乱、治安悪化への不安など、市民生活に影響を与えることは否定できない。公営競技の場外発売所設置をめぐる、過去には与那城桃原、石川美原、伊波、嘉手刈、勝連南風原にも建設計画が浮上したが、市民生活へ与える不安と危機感への懸念が広がり住民の反対等で実現していない。今日まで県内には国が認可した公営ギャンブルの売場は存在していない。うるま市の将来像にもある誰もが住みたい、住み続けたい、住んで良かったと思えるまちづくりの実現のためにも、公営競技の場外発売所を市に設置することを反対する決議に賛成である。

編集後記

ハイサイ、グスーヨー、チューウガナビラ。今年も猛暑、日差しがサンサンと焼ける暑さが続いています。どうお過ごしでしょうか？

9月1日は、防災の日、昨年度は、能登地方地震など自然災害において、台風・大雨で土砂災害・浸水被害などが、多く発生しました。今までにない場所での起り、災害は、予測できないため、日頃から危険個所を把握しなくてはならないと思いました。

うるま市においては、基地も多く、原子力潜水艦などの災害対策についても国・県・市で対策を万全にするべきであると考えます。（金城加奈栄）

議会広報委員会では年に4回の議会だよりを発行しております。広報委員会の役割は市民の皆さんに議会での様子を知っていただくことです。これまで議会だよりの文字の大きさや、内容のレイアウトなど幾度かリニューアルを行ってまいりました。

ここで皆さんに案内です。もつと議会について知りたい！もつと議員の一般質問の様子を知りたい！そんな方に朗報です。「うるま市議会インターネット中継」と検索していただければ、ライブ中継や過去の録画映像もご覧いただけますのでチェックしてみてください。（国吉寛）

- 委員長 平良一雄 副委員長 天願久史
- 委員 兼本光治 眞壁朝弘 上西眞理
- 五元哉世 玉城政哉 神田洋一
- 金城加奈栄 国吉寛